

芸術文化 中間報告

芸術文化PT
芸術文化懇談会

芸術文化の研究体制

芸術文化懇談会

学識者や芸術文化関係団体の代表、関わりのある住民等11名で構成。

忌憚ないご意見を頂戴し、将来の町の芸術文化について意見交換を重ねている。



政策研究所

「芸術文化」プロジェクトチーム

町職員、文化会館(指定管理者(株)ケイミックス) 職員の8名で構成。

懇談会で出た意見やこれまでの町の芸術文化を振り返り、どういった政策が必要かについて議論を重ねている。

報告内容

1、三芳町について

2、これまでの芸術文化活動

3、国・県・町の芸術文化政策

4、課題

5、来年度にむけて

6、まとめ

三芳町について

• 人口等



- 人口 約38,000人
- 世帯数 約15,500世帯
- 昼間人口 約43,800人
- 児童・生徒数 3,403人 (平成25年)
⇒緩やかな増加傾向
- 高齢者人口 8,195人 (平成23年)
⇒平成30年には11,035人
(高齢化率24.1%) となる予測

三芳町について

• 地域特性

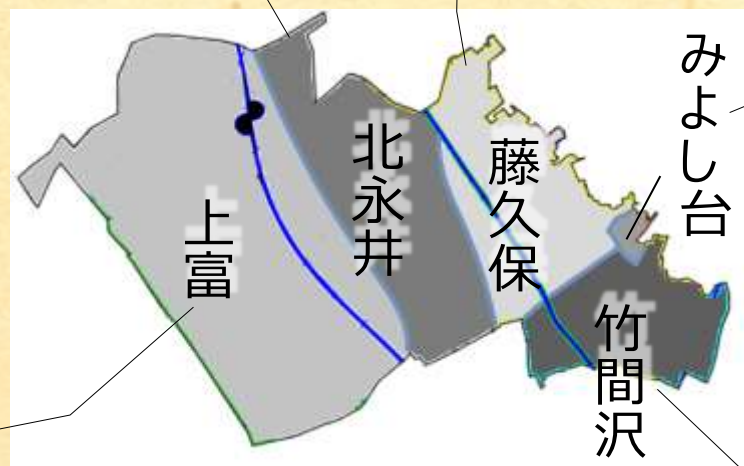
- 上富地域に次いで、武蔵野の景観が残る。
 - 倉庫・工場等も立地。
- 面積 3.10km²
人口 7,013人

- 人口が最も多い地域。
 - 市街化区域がほとんど。その中に農地が残る。
- 面積 3.19km²
人口 21,511人

- 全域が市街化区域で大規模集合住宅が大半。
 - 人口密度が最も高い。
- 面積 0.09km²
人口 2,078人

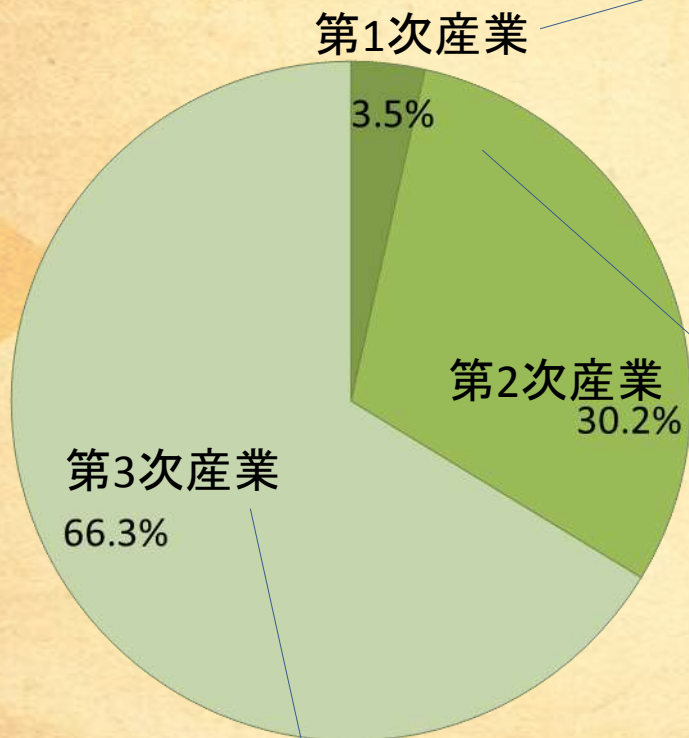
- 面積の半分以上が農地と平地林。
 - 農業的土地利用が主。
- 面積 7.27km²
人口 3,579人

- 工場地域有り。
 - 住居系建物が増加。
 - 南側に農地が残る。
- 面積 1.91km²
人口 4,296人



三芳町について

産業



・富士見市	1.7%
・ふじみ野市	1.2%
・所沢市	1.6%
・川越市	2.1%
・狭山市	1.9%
・坂戸市	1.7%
・毛呂山町	2.2%
・越生町	2.7%

経済BANK HPより

うち、
上富地区 48.1%
北永井地区 21.5%

依然、増加傾向にある



町の伝統芸能



・お囃子



・里神楽



・車人形



地域の芸術文化活動





学校における芸術文化活動

文化会館の活動



文化会館の活動



文化会館の活動



総事業数の約3割

- 文化活動サークルによる成果発表
- コピスの風コンサート 等

発表



鑑賞

- 多岐に渡るジャンルで著名なアーティストを招聘
- 伝統芸能 - ポップス
 - オーケストラ - 落語
 - 車人形とデーモン小暮氏の共演 等



文化会館
の
活動

芸術文化の入口となる
知識や経験の機会

- ワークショップ
- 楽器 - オペラ
 - 落語 - 映画 等



参加



3つを複合的に絡めた取組

- 小学校音楽アトリーチ
- 中学校芸術鑑賞会
- ロビーコンサート

アトリーチ

年間自主事業数

全国平均 : 11

コピスみよし（文化会館） : 21 ⇒ 60日に及ぶイベントの開催

地域の芸術文化活動の振興を図る

国、県、町の芸術文化政策

文化芸術振興基本法

… 文化芸術の振興に関する基本的な理念・施策について定めた法律

県	国	町
<p data-bbox="220 682 600 786">- 埼玉県文化芸術振興基本条例</p> <p data-bbox="220 853 672 958">⇒埼玉県文化芸術振興計画</p> <p data-bbox="220 1025 697 1186">「文化芸術振興の諸施策を展開し、心豊かで活力ある埼玉」</p>	<p data-bbox="739 682 1180 786">- 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律</p> <p data-bbox="857 911 1093 958">施設の整備</p> <p data-bbox="962 968 993 1015">↓</p> <p data-bbox="739 1029 1190 1186">・施設で行われる活動 ・事業を行うために必要な人材の養成</p>	<p data-bbox="1257 682 1731 843">- 第4次総合振興計画 - 三芳町文化会館運営基本方針</p> <p data-bbox="1257 968 1682 1129">・芸術文化懇談会 ・芸術文化プロジェクトチーム</p>

何のために、町（行政）が芸術文化を振興するのか

芸術文化で、**生きる力を育む**

1

こころの育成

2

生活への潤い

⇒ 徐々に **熱** を生み出していく

事業展開を考える

イベント開催で見る問題点 ～行政～



開催すること自体が目的に

運営形態のパターン化

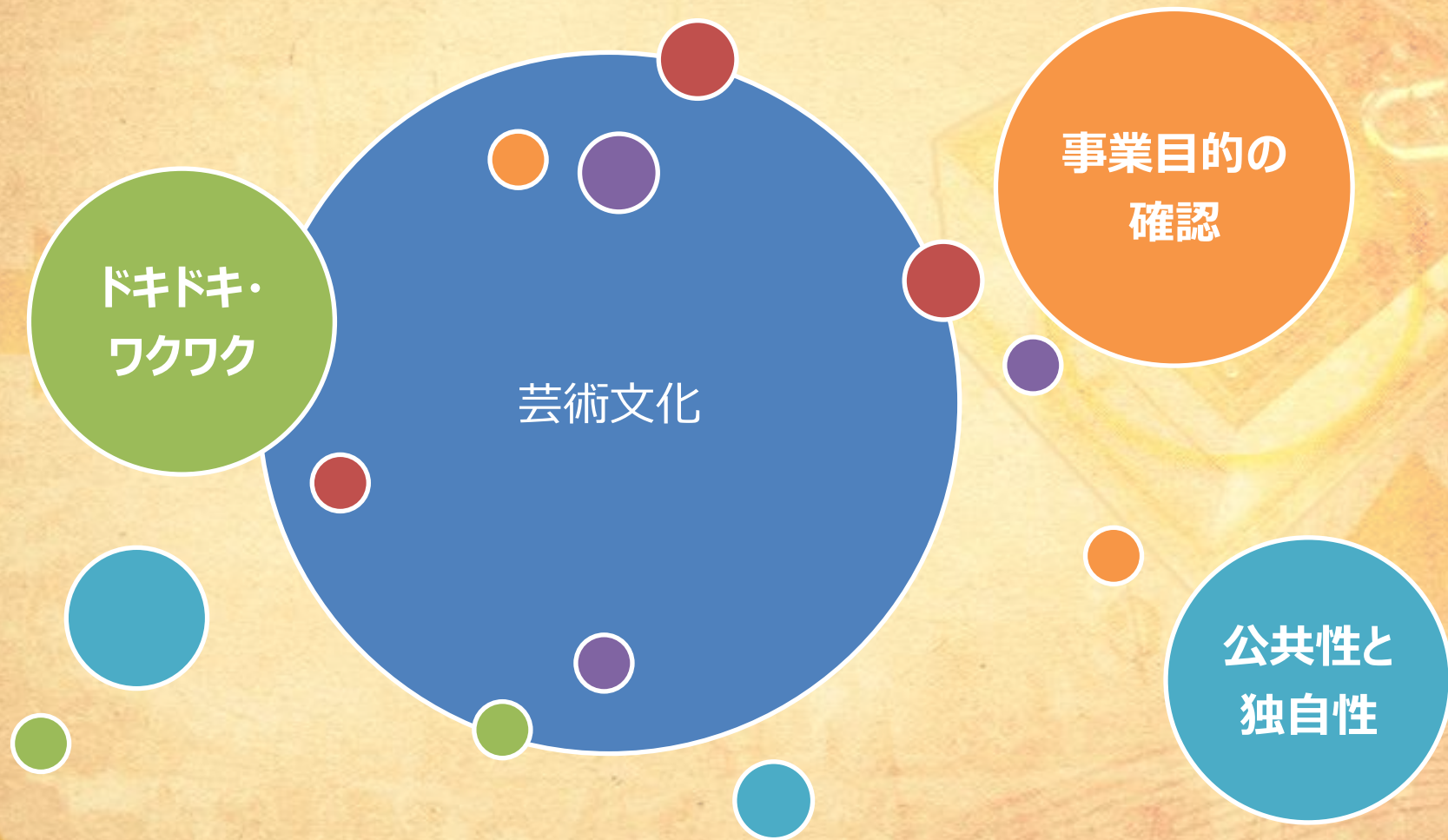
住民主導が少ない

他分野との連携、協調に乏しい

行政として関与できるもののみに関与

and more...

事業展開を考える



事業展開を考える

生きる力を 育む芸術 文化の 事業展開

例 1 芸術文化イベントの開催

- ・親しみやすい
- ・多数の人が関わる

事業展開を考える

生きる力を 育む芸術 文化の 事業展開

例 2 芸術文化のコーディネート

・個々の活動をつなぐ

例 3 取組事業の検証

・必要性の明示化

来年度に向けて

- 行政がすべきこと



「行政の文化」化

⇒現在行われているイベントや
その他事務事業に、
芸術文化的要素を盛り込む余地はないか。

- 芸術文化 = 親しみやすい
- 行政の事務事業 + 芸術文化
= 住民目線に近い事業

来年度に向けて

- 意識したい点

市民意識・
自治意識

独自性・
自主性

郷土愛
(誇り・プライド・自慢)

事業主体の
独立性・継続性

不利益層への
配慮と
積極的な関与

行政・地域外
からの視点

地域文化

地域発信

地域デザイン

経済効果

他部署・他分野
との連携、発展性

遊び心と
やる気のスイッチ

来年度に向けて

- 懇談会とプロジェクトチームの取組み

**芸術文化が町民の「生きる力」となり、
町づくりを担う有効なツールであることを検証する**

来年度に向けて

- 懇談会とプロジェクトチームの取組み
 - ◆ 現在行われている芸術文化活動の効果的なPR方法の研究
 - ◆ シンポジウムの開催
 - ◆ ローカルカフェの開催



まとめ

芸術文化

年齢や性別の分け隔てなくつながることが、町の発展にもつながる。

得た体験や感動を、個人で完結するだけに終わらせず、
熱や感動が他者に伝播していく。

感動が行動に、幸せが地域に 広がる。

**「ワクワク、ドキドキ」を生きる力につなげ、
豊かで活気あふれる町に！**

完

